

令和 7 年 度 事 業 報 告 書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

1 配合飼料価格差補てん事業

(1) 令和 7 年度契約件数及び契約数量（畜種別 当初）

（単位：トン、戸）

畜 種	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	うずら用等	計
契約数量	3,081	2,351	1,841	6,117	856	214	14,460
戸 数	22	32	3	13	4	3	77

(2) 令和 7 年度通常価格差補てん積立金及び別途納付金の額

（単位：k g、円）

区 分		第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	計
通常補 てん積 立 金	契 約 数 量	3,641	3,587	3,595	3,587	14,410
	積立金単価	800	800	800	800	—
	積立金額	2,912,800	2,869,600	2,876,000	2,896,600	11,528,000
別 途 納 付 金		3 件 対象数量 114 t 単価 210 円				

(3) 価格差補てん金の交付について

○通常価格差補てん金

（単位：k g、円）

対象四半期	対象数量	トン当り単価	補てん金額
令和 7 年度第 4 四半期	3,252,682	1,750	5,692,192

2 畜産リース事業

(1) 一般財団法人畜産環境整備機構が行うリース事業の既貸付者に対する貸付料の回収及び（一財）畜産環境整備機構への納入を行った。

① 畜産高度化支援リース事業（1/2 補助）

区 分	貸付機械	件数(件)
直接リース	堆肥置場	1

② 畜産経営高度化支援リース事業（経営リース）

区 分	貸付機械	件数(件)
直接リース	堆肥置場	1

3 流通飼料実態調査事業

高知県より委託を受け、委託事業実施要領に基づいて次の調査を実施し、報告書を作成した。

- (1) 配合飼料の供給及び流通の実態
- (2) 畜産農家の飼料購入の実態
- (3) 配合飼料の需給量の推移と価格の動向
- (4) 粗飼料の流通実態

4 肉豚経営安定交付金制度

養豚経営の安定を図るため、肉豚 1 頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、9 割を生産者の積立金と国の交付金により交付。

事業の周知及び説明会の開催、事務手続きの支援及び生産者負担金の徴収・納入等。

令和 7 年度は、各四半期ともに標準的販売価格を上回って推移したため、補てん金の交付は行われなかった。

- 肉豚経営安定交付金制度の参加状況

制度参加者	事業対象頭数
8 名	36,677 頭

- 生産者負担金単価(1 頭当り) 400 円

5 畜産クラスター事業

当協会は、高知県養鶏クラスター協議会の事務局を担っているが、本年度においては畜産クラスター事業（機械導入事業）への参加要望はなかった。

6 畜産経営体質強化緊急支援事業

この事業は、高知県が配合飼料価格高騰の長期化が一定期間続くことが見込まれるため、飼料価格高騰の影響を受けにくい経営への構造転換に向けて、飼料コスト削減や生産性向上に取り組む畜産農家に対して、配合飼料価格安定制度では補填しきれない価格上昇分を緊急的に支援するもので、令和 7 年度第 4 四半期において生産者の事業参加申請書に基づき、県から支援金を受入れ生産者に交付した。

事業の実施状況は次のとおり。

(単位：トン、円)

期 別	対象人員	対象数量	トン当り 単価	交付金額
令和 6 年度第 4 四半期	70	3,249.555	4,200	13,648,131
令和 7 年度第 2 四半期	68	3,057.92	3,150	9,632,446
計		6,307.475		23,280,577

7 管理運営事項

1) 会議の開催

- (1) 定時総会
- (2) 理事会(4回)